

# 領収書を全面公表

今年度分から領収書を含め市議会ホームページで全面公開します。日本共産党は独自で公開していますが、議会全体として政務活動費の透明性をさらに高めるため、市議員選挙の公約に掲げ、議会の中で提案してきました。

11月議会本会議、委員会の質問から **日本共産党市議団**

【代表質問】

倉沢さとし議員



市長は、もっとも困難な問題をかかえる立場の市民の声に耳をかたむけよ

**質問** 市長は政治姿勢として、上から決め付ける維新市政からの転換をはかり、市民の声に耳を傾ける市政にするとした。市長が、直接市民との対話の場をつくり、広く市民の声を聞いてはどうか。

**答弁(市民部)** 広く市民の声を聞くことは大変重要である。市長が直接出向く懇談会の開催など対話の場づくりを充実させる。



待機児解消のために保育の「量」と「質」の確保の両立はかれ 保育士不足に市独自の支援を

**質問** 子どもたちに充実した保育を提供するためには認可保育所の増設と保育士不足への対策をあわせて進めるべきだ。保育士不足は保育の質を後退させる。保育の質を維持するために、保育士不足に市独自の支援を強めるべきだ。

**答弁(児童部)** アクションプランで待機児ゼロを目指している。保育士不足対策は取り組みを強めている。小規模保育所への助言などさらに強めていきたい。

公共交通不便地域(千里山・春日)の早期の解消を

竹村 博之議員



**質問** 千里丘地域では、コミュニティバス(すいすいバス)が運行されている。その経験をいかし、千里丘につづき千里山・春日地域での早期の実施が期待されるが、現状の課題や市民参加について示せ。

**答弁(土木部)** 千里丘地域では着実に利用者が増加し、昨年度約13万人で地域に浸透している。千里山・春日地域は狭い道路が多く、運行ルートや使用車両選定など課題がある。地元市民の参画を得て、実施にむけて慎重に検討する。

解体工事に対し説明を義務付ける条例を評価(福祉環境委員会)

塩見みゆき議員



**質問** 説明内容の報告義務や説明会の議事録の閲覧、説明会の実施回数などはどうなるのか。工事の時間帯、車両の経路など細部にわたって住民は関心がある。説明については住民の方が求める内容に。

**答弁(環境部)** この条例の目的は住民の方に充分説明をしていただき、理解が進むような説明会にすることである。そのために今後、委員会でのご意見も参考に規約や手引きで内容を規定していく。

中核市への移行で市民福祉は向上するのか

柿原 まき議員



**質問** 市長が唱える中核市制度は道州制への移行と一体で問題点もあるが、住民サービスがどう向上すると考えるのか。市長の見解をきく。

**答弁(市長)** ①住民の実態に即した医療福祉政策を展開できる②吹田らしい独自の取り組みができる③大阪府と吹田市が担ってきた同じ目的の事務を統合することで力強く効率的な施策の展開を図れる④吹田を理解し愛着を持つ市職員が、一層きめ細やかな対応を行うことが可能になる。

JR吹田駅前自転車地下道にバイコレーターの設置を

玉井みき子議員



**質問** 以前に設置を求めたところ「設置に向けて財源確保に努める」とのことだったがその進捗は?また安全対策のために努力をされているのは理解できるが、いつまでも引き延ばしにせず、利用状況の実態を把握して早急な手立てを打ってほしい。

**答弁(土木部)** 地下道の自転車利用者にご苦勞をおかけしていることは認識している。今後対応できるように、財源確保に努めたい。

府に対しチャレンジテストの廃止・撤回を求めよ

上垣 優子議員



**質問** 大阪府チャレンジテストは、通う中学により高校入試に不公平を生じ、テスト用紙が返されないため採点ミスもわからないなど、他にも多くの問題点がある。府が強制できないものであり、市として廃止・撤回を求めよ。

**答弁(学校教育部)** ご指摘の数点とも課題としてあわせもつため、中学校の教育活動に与える影響に十分配慮したものになるよう、今後、大阪府教育庁に提言していく。

中の島市民プール跡利用、公園再構築は子ども・地域意見の反映を

山根たけと議員



**質問** 子どもたちの意見の反映、地域住民から出ている疑問や意見に市はどのように応え、跡地活用、老朽化した管理棟の建て替え、余剰地の活用などどのように反映していくのか。

**答弁(都市魅力部)** 跡地には人工芝の多目的広場を設置し昼は子どもたちや親子連れに開放し、夜はフットサル等の専用利用を考えている。今後、地域の方々の意見もしっかり聞きながら喜んでいただける運営、管理棟など公園施設のあり方を検討していく。

## 意見書の結果

	日本共産党 7人	公明党 7人	自由民主党 の会 6人	大阪維新の 会 4人	吹田新選会 3人	吹田翔の会 3人	吹田いきいき市民 ネット フック 1人	すいた市民 自治 1人	すいた市民 クラブ 1人	無所属 クラブ 1人	すいた創政 会 1人	未来を つくる 1人	可否
地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書 ※	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	×	○	可決
北方領土返還運動の促進に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決

「ホームドアの設置と内方線付き点状ブロックの整備促進を求める意見書」「地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書」は全会一致で可決しました。

反対理由

※議員年金が廃止され、地方議員のなり手不足をその理由にしていますが、年金制度だけがその原因ではありません。折しも国会では年金カット法案が強行可決されたばかりであり、議員の厚生年金への加入については議論が成熟しておらず、時期尚早です。

## 介護を考えるシンポジウム

2016年10月29日、「介護を考えるシンポジウム」を開催し、152名の参加がありました。報告集をご希望の方はご連絡ください。6337-6853

